

〈特集〉 親になる

この冬始まる！

みとよクエスト
プロジェクト

P19

年末年始業務のお知らせ

P12

12月3日から9日は障害者週間



親になる 準備をしよう

パパママ教室 2・3カ月に1回開催



妊娠 16 週以降のママとパパ（家族可）が対象。沐浴や赤ちゃんの着替えなどを実際に体験します。パパとママが協力して子育てできるように、お産や産後にパパができることについて助産師さんからの話もあります。

プレママひろば 3カ月に1回開催



妊娠 16 週以降のママが対象。助産師さんから母乳育児の仕方について教わります。また、妊娠中の過ごし方や出産時のこと、産後の赤ちゃんとの接し方など、気になることを座談会形式で気軽に相談もできます。

母乳育児のメリットや
赤ちゃんの抱き方を聞
いて参考になりました



◀プレママひろば参加
者の小塚由佳さん（左）、
鶴石彩子さん（右）

※パパママ教室やプレママひろばの日程は、広報みとよ「ここ笑み」コーナーでご確認ください

いよいよ赤ちゃんが生まれるうれしさがある反面、初めての出産には不安な気持ちが続くことも。そんなとき、紗希さんを励ましたのは、自身のお母さんの「大丈夫！」という前向きな言葉でした。

「妊娠してみると、母がどれだけ子どものことを考えてくれたかがよく分かりました。私も母のように、『何があっても大丈夫だよ』と、子どもを包み込めるような親になりたいと思います」

約200日の間、おなかの中でずっと一緒に過ごしてきた赤ちゃん。「生まれ



▲「元気に生まれてきてくれて良かった」と微笑みかけるパパとママ

▼11月8日に無事出産。名前は悩んだ結果、彩葉ちゃんに決まりました



てくるのを楽しみにしとるよー」と語りかける紗希さんの表情は、すでに優しいお母さんの顔になっていました。

Case.2

高木 貴大さん・有香さん

第一子出産日：9月26日

妊娠を知ったときは、素直にうれしかったんです。妊娠初期をそう振り返る高木有香さんは、6月に切迫早産の診断を受けたため、仕事を休んで安静を心がけてきました。そして、9月26日に第一子とな

る長男の優我ちゃんを出産。出産前には、SNS*で先輩ママのさまざまな体験談を読んで、陣痛から出産までのイメージを膨らませていたと言います。実際の陣痛では、想像以上に腰の痛みを感じましたが、分娩まで約8時間を経て、無事に出産を終えました。今は「かわいくて仕方ないですね」と、我が子への愛情が高まっている様子。

「将来、息子が大きくなったら、一緒にキヤッチボールをしたい」と話していた夫の貴大さんは、仕事の都合で週末しか優我ちゃんの顔を見ることができません



んが、限られた時間の中で、抱っこやお風呂入れ、オムツ替えなどを率先して取り組んでいます。

「夫婦2人とも子どもが好きなので、将来は男の子と女の子と、3人きょうだいにできたらいいですね。にぎやかな家庭にしていきたいです。これから、子どもと一緒にクリスマスやお正月などのイベントを過ごせることが楽しみです」

※SNS…インスタグラムやツイッターなど、インターネットを介して情報を発信・共有・拡散し、人々と交流できるサービスの総称のこと

特集

親になる

親になるってどういうことだろう——

たくさん喜びとともに、大きな責任を感じる子育て。環境もがらりと変わります。今、子育てに奮闘している人、子育て支援に関わる人々の思いをたどりながら、「親になる」ことを考えます。



ドキドキの妊娠と出産。 初めて赤ちゃんを迎える家族に インタビュー

Case.1

三宅 祐貴さん・紗希さん

第一子出産日：11月8日



▲夫の祐貴さんとパパママ教室に参加。助産師さんから沐浴の方法を教わりました



▲妊婦を体験できるジャケットを身に付けて、日常生活での動きにくさを体感しました

臨月のおなかに微笑み、「元気に生まれてきてね」と声をかける三宅紗希さん。初めての出産を控えた予定日の2週間前に話を聞きました。

妊娠が分かったのは、3月のことでした。つわりで肉や卵を食べることが一切できなくなった時期もありましたが、安定期に入った6月には収まり、胎動も感じるようになりました。

「赤ちゃんがおなかの中でしゃっくりをするのが分かるようになりました。肺を鍛える練習だと聞き、小さくてもちゃんと生まれる

準備をしていることに、子どもを授かった実感も大きくなっていました」

10月には、夫の祐貴さんと2人でパパママ教室に参加しました。お風呂の入れ方やオムツの替え方を学んだり、産後は女性ホルモンのバランスが崩れることから、マタニティブルーが起りやすいと聞いたたりし、「ママのケアも大切なことが分かりました。支えていけるように頑張ります」と祐貴さん。生まれてからの育児のイメージが膨らみやすくなったと言います。

「夫とは、子どもが生ま



▲「名前の候補は多いのですが、決めるのは顔を見てからかな」と名付けの本をめくる紗希さん

れたら、どんなふう育てたいかをよく話しています。2人ともおしゃべりが好きなので、明るい家庭にしていきたいね、と。のびのびと仲良く楽しく子育てできたらいいですね」

パパとママがチームワークを築くまで

子育ては楽しくもあり、大変でもあり。夫婦で子育てを共有・協力する形ができて子育てに取り組んでいるのか、2組

その中で、パパとママも成長していき、夫あがっていきます。パパとママがどうやって家族に話を聞きました。



西原さん家族

パパ：享史さん（たかし） ママ：澄子さん（すみこ）
長女：詩さん（うた）（7歳） 次女：青さん（あお）（4歳）

パパにも頼ると決める
「子育ては母親が頑張らないといけないものだ、自分自身でプレッシャーをかけていた時期がありました。でも、父親の言う事の方がすんなり聞き入れてくれることもあります。夫にももっと頼ってみようと思っただけで、だいたいお楽になりました」と話すのは、ママの澄子さん。今ではパ

ママが楽できるように
4人のお子さんを子育て中の小山さん家族。夫婦共働きのため、現在、下の3人の保育所の送りはパパ、迎えはママが分担して行っています。また、パパの知見さんは日ごろは皿洗いをし、週末には夕ご飯を作ることも。ママの美代子さんが休日出勤のときは、子どもたち4人を連れて公園に遊びに行くのが日常です。しかし、1人目が生まれたときは、ママに任せる時



小山さん家族

パパ：知見さん（ともあき） ママ：美代子さん（みよこ）
長女：虹美さん（なみ）（8歳） 長男：蓮斗さん（れんと）（6歳）
次女：夏凜さん（かりん）（4歳） 三女：杏華さん（あんな）（2歳）

本音を言えない時期を乗り越えて
協力体制を築いている西原さん夫婦ですが、長女の詩さんが幼いころは、なかなか会話の時間が取れず、お互いに子育て中の本音を伝えられない時期があったそうです。
「2時間ごとの授乳とオムツ替え、抱っこを繰り返す日々が続く、話をする時間の余裕がありませんでした。だから、時々けんかをすることもありましたよ。」

パの享史さんが、自宅での仕事の合間に得意な掃除や洗濯のほか、子どもたちの身の回りの世話をしたり、遊び相手になったりして、家庭を支えています。享史さんは、「チームのリーダーという感覚」だと言いますが、澄子さんにとっては、家族をまとめる「縁の下力持ち」のよう存在です。



▲休みの日は、家族みんなで行動するのが基本。家の目の前の海岸で散歩を楽しむことも

そこで初めて、相手の本音に分かることも」
徐々に思いが通じるようになったこと、そして、2年前に三豊市に移り住み、環境を変えたことが澄子さんの気持ち切り替える大きなきっかけとなりました。「最近では、子どもたちの良いところをどうやって伸ばしているかを、2人で相談することが多くなりました。『私たち、頑張ってるよな』とねぎらいの言葉も掛け合っています。パパが子どもたちと仲良く遊んでいる姿を見ると、微笑ましい気持ちになりますし、子育てをしていると、日々、新しい世界が広がっていきます。子どもを中心に、家族がまとまってきたなと感じています」

間が多かったそう。そんなパパの行動が変わったのは、子育てと仕事を両立しているママの姿を見て、はっと気が付いたからでした。「妻はどんなに朝早くても、朝ご飯を作って、保育所の準備をし、洗濯も済ませています。その姿を見て、尊敬する気持ちとともに、少しでも楽をしてもらいたいと思うようになりました」
今では家事や育児の面でできることはするように心がけていると言います。

2人で叱らない
夫婦が子育てで気を付けているのは、どちらかが叱ったら、重ねて叱らないということです。その日の子どもたちの出来事を共有し、しつけとフォローの役割を自然と分けるようにしています。
「友達に迷惑をかけたり、傷付けたときは、子どもと真剣に話し合います。また、あいさつとお礼をきちんとするようにも言っています。あとは、元気にまっすぐ育ってくれば」
4人の子育ては手が足りないときもあるけれど、「大変だと思ったことはないです」と美代子さん。

地域の子育て支援サービス
ファミリー・サポート・センター事業（ファミサポ）
地域に子育ての援助を頼める仕組み
「保育施設までの送迎をしてほしい」「仕事が終わる時間まで預かってほしい」など、子育て中に手を借りたいとき、ファミサポで子育ての援助を受けられます。手伝ってくれるのは、子育てを応援したいという、地域の「まかせて会員さん」。仕事と両立したいとき、育児のリフレッシュをしたいときに、お願いしてみたいいかがでしょうか？



おねがい会員（利用する人）

対象

- ・市内在住または在勤の人
- ・生後6カ月から小学校6年生までの子どもがいる人

サービス内容

- ・保育所・幼稚園・放課後児童クラブなどの送迎や一時預かり

利用料金

- ・平日午前7時～午後7時 1時間700円
- ・その他の時間帯 1時間800円
- ※兄弟姉妹で預ける場合、2人目以降半額



みとよファミサポ ホームページ

あなたも子育てのお手伝いをしてみませんか？

まかせて会員（援助する人）

対象

- ・市内在住の20歳以上で、子どもを預かることができる人
- ※養成講座の受講が必要

まかせて会員養成講座を開催！

【日時】平成31年1月29日（火）、30日（水）、2月7日（木）、14日（木）、15日（金）の5日間
午前9時～午後3時40分
【場所】豊中庁舎

まかせて会員さんにインタビュー



まかせて会員 三宅 智恵さん

私も子育て中に周りの人に助けってもらった経験から、子どもに関わり、成長を感じられるとうれしいです。人生が豊かになったように思います。こうしたサポートで、みんなが楽しく子育てできる社会にしていければいいですね

ファミサポに関する申し込み・問い合わせ

みとよファミリー・サポート・センター
☎ 62・1192



▲体を使って遊ぶ「2歳児の日」は人気のイベントの一つ



▲いつも笑顔のスタッフの皆さん。子どもたちが安心して遊べる空間を作っています

すくすくランド（詫間町・三野町）／
ピョピョカンパニー（山本町）

運営：NPO 法人すくすく



▲子どもの生活リズムを整えるために活用する人も多いそう。初めての利用でも、スタッフさんが打ち解けやすいように声をかけてくれるので、気兼ねなく交流できます

仲間づくりで子育てを楽しく

旧詫間町時代からの子育てサークルを引き継ぎ、合併後に市から委託を受けて始まった「すくすくランド」。当時の中心メンバーで、現在NPO法人すくすくの理事長を務める藤井香織さんは、「ママ同士がつながる場があれば、子育ては楽しくなる」という思いのもと、親子の居場所づくりに取り組んできました。今では、市内3カ所でつどいの広場の運営をしています。「最近では、子育てに関する情報が溢れていて、何が参考になるのか迷うママが増えています。そんなとき、広場で出会う先輩

開催日時

・すくすくランド(たぐま広場):月曜～金曜

・すくすくランド(みの広場):月曜

・ピョピョカンパニー(やまもと広場):
月曜・火曜・木曜・金曜

いずれも午前9時30分～正午
午後1時～午後3時30分

問い合わせ

NPO法人すくすく ☎83-7739

保健師が育児相談を受けています

月に1回、つどいの広場や子育て支援センターへ保健師が訪問しています。



離乳食や予防接種のことなど、子どもの成長で気になることがあれば、何でもご相談ください。身長・体重測定もしています。

＜利用者支援事業＞
子育て支援コーディネーター
相談番号 ☎23・6260
※電話相談のほか、面談を希望する場合は事前予約が必要です

ママやスタッフの生きた経験談を役立ててもらえれば。また、ここには子育て支援コーディネーターがいますので、子育てに関する相談や情報提供もしています。分からないことがあれば、気軽に利用してください」



▲NPO法人すくすく理事長の藤井香織さん

サニーハウス（豊中町）

運営：子育て応援 NPO フレンズ



ママ友づくりや、育児のリフレッシュのために利用できます

親子が安心して
頼れる場所に

「子育てでは思い通りにならないことばかり。そんなときに、子育て経験のあるスタッフや先輩ママと話をすれば、気持ちも楽になることもありますよ」と話すのは、子育て応援NPOフレンズ理事長の片野牧さん。片野さん自身も子どもが幼いときに周りのサポートを受けたママの一人。その経験から、平成22年に子育て支援のNPOを立ち上げ、平成28年4月からはサニーハウス運営の業務委託を受けています。

「子育てで人を頼ることは、一生懸命ではない、手を抜いている」ということではありません。大変なときは、周りに頼ることも大切です。悩みや不安なことがあれば、私たちと一緒に考えていきますよ。親子が安心できる場所をめざして頑張っています」



◀子どもが喜ぶおもちゃがたくさん。室内だけでなく、園庭もあり、遊びの選択肢が多いのも魅力



▲サニーハウススタッフの(左から)合田小百合さん、片山佳奈さん、片野牧さん、高橋悦子さん。「ここに来ると楽しい、居心地がいい場所だと思ってもらえるよう、スタッフみんなで取り組んでいます」

▶お昼には、持ってきたお弁当を食べることもできます。「ここでたくさん遊んで、ご飯を食べると、お昼寝してくれやすいんです」と利用するママたち



開催日時 月曜～金曜 午前9時30分～午後3時 問い合わせ サニーハウス ☎24-8690

地域子育て支援センター



高瀬地域
子育て支援センター

広い園庭があり、のびのびと遊ぶことができます。毎週木曜日にはベビーフォトを実施。

月曜～金曜
午前9時30分～正午
午後1時～午後3時30分
☎73-5100



仁尾地域
子育て支援センター

保育所に併設しており、合同で季節のイベントの開催も。12月7日には餅つき大会を予定。

月曜～金曜
午前9時30分～正午
午後1時～午後3時30分
☎82-3292



ここ笑み
ホームページ

市内に4カ所ある「つどいの広場」は、保育所や幼稚園に入る前の子どもたちが一緒に遊んだり、ママやパパが悩みを話し合ったりできる場所。そこには、日ごろから親子と真剣に向き合うスタッフの皆さんの姿がありました。



子ども・子育て支援のアンケート調査にご協力を

「みとよすくすく子育てサポートプラン」の次期計画（2020～2024年度対象）を策定するにあたり、市民の皆さんの子育て状況やニーズを把握するためにアンケート調査を実施します。

子育て支援施策を充実するための大切な調査ですので、アンケートへのご協力をお願いします。

調査対象 ※無作為選出

- ・就学前の子どもがいる 2,000 世帯
- ・小学生の子どもがいる 2,000 世帯

調査内容

子育てに関する現状や利用しているサービス、今後希望する子育て支援や環境などについて

調査方法

1月中旬頃、調査対象者にアンケートを送ります。調査票が届きましたら、ご記入のうえ同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

問い合わせ

子育て支援課 ☎ 73-3016

市の子育て支援課には、保健師が在籍しており、妊娠期から子育て期に渡って、育児に関する多様な相談に応じています。

「子どもが生まれた日に、親としての人生が始まります。初めてなら、戸惑って当たり前。私たち保健師がサポートするので、困ったときは何でも相談してください。」

また、今はパパも一緒に育児をする時代になってきました。パパには、ママの気持ちに共感し、しっかりと支えてほしいと思います。そのうえで、祖父母や地域、行政など、たくさんの人が関わることが、子どもの成長には大切です。子育てを楽しむために、遠慮なく頼り上手になってくださいね」

子育ては一人じゃない

パパママ、家族、地域、行政：

私たちがサポートします



▲子育て支援課で母子保健を担当する保健師の皆さん

子どもが生まれて、家族が増えて…。親になると、生活が子ども中心に変わり、初めて経験することが増えていきます。その中で、ときには不安を感じたり、悩んだりすることがあるかもしれません。でも、出会ったパパやママが口を揃えて話すのは、「子どものおかげで、人生が豊かになった」ということ。子育てをしなければ、味わえなかった幸せな気持ちや感動があると言います。パパとママに共通する思いは一つ。親になって、よかった。

今年8月に次女のすみれさんが生まれた切東さん家族。「やっと授かることができたので、愛おしくて仕方ないです。子どもたちには、望むことをさせてあげたいですね」とママの祐子さん。パパの大輔さんとともに、長女の夏望さん(7歳)、すみれさんの成長を見守りながら、たくさんの喜びを感じていると話します。



愛育会のふれあい広場

「安心して子どもたちが遊べる場所を作ろう」と、平成4年に愛育会会長の田尾弘子さんが始めたふれあい広場。現在も会員の親子が集まり、和やかな時間を過ごしています。

部屋に入った瞬間に、「いい声、いい声、いい声」という明るい声が響きます。声の主は、愛育会会長の田尾弘子さん。ふれあい広場を始めた当初から、こうして親子を迎えてきました。集まったママたちは子どもを遊ばせながら、ママ同士で子育ての話題で盛り上がり、田尾さんの経験談を聞いたり。田尾さんはママの意見に共感しつつ、「子

どもと過ごす時間を大切にしてくださいね」と声をかけます。

「子育てが楽しいと思う時間を1分でもここで過ごしてほしい」と話す田尾さん。そのため、たとえ参加者が1組でもふれあい広場を開催してきました。

「普段は笑顔のお母さんも、子育ての悩みを抱え、自分を責めてしまっていることがあ

りました。でも、周りのお母さんたちから経験談やアドバイスを聞くと、みんな同じように悩んでいたんだと、安心した表情になるんです」

田尾さんの「心配ないよ、大丈夫だよ」という言葉が、たくさんの親子の支えとなりました。そして、これからもふれあい広場は続いています。



①開催日には、だいたい8～10組の親子が集まります ②ほっと一息ついて、親しく話ができるおやつタイム ③子どもを遊ばせながら、ママたちは情報交換 ④帰り際に、子ども一人ひとりの名前を呼んで、「バイバイ」と見送る田尾さん

自分の家に迎え入れるように

親子が安心して遊ぶことができる場所があればと思い、ふれあい広場を始めました。長く続けていると、成長した子どもたちが街で会ったときにあいさつしてくれるのがうれしいですね。私にとって、ふれあい広場は「自分の家」のようなもの。私のうちに遊びに行くような感覚で、気軽に参加してほしいです。



愛育会会長 田尾 弘子さん

運営に参加して広がる輪

5年前、2人目の子どもが0歳のときに、愛育会に入会しました。今は3人目の子どもと一緒に通っています。参加しているうちに楽しさを感じ、運営側の理事を引き受けました。イベントを提案したり、他の理事のママさんたちと仲良くなれるのがいいですね。子育ての輪が広がりました。



愛育会副会長 森 愛さん・優介さん

開催日時

毎月第2・3・4木曜 午前9時30分～11時

場所 豊中町保健センター（豊中庁舎4階）

対象 愛育会会員とその家族

入会申し込み・問い合わせ

子育て支援課 ☎ 73-3016

※愛育会の入会には年会費500円／世帯が必要です

12月18日(火)は、ケーキ作り・クリスマス会

お知らせ

おめでとうございます

▶問い合わせ 秘書課 ☎73-3001

- 秋の叙勲、危険業務従事者叙勲
および秋の褒章の発表があり、三
豊市から次の皆さんが受章されま
した。
(敬称略・順不同)
- 秋の叙勲**
- ◆瑞宝小綬章
【教育研究功労】
田淵 研三(山本町)
 - ◆瑞宝双光章
【教育功労】
白杵 正明(高瀬町)
【国土交通行政事務功労】
亀山 忠夫(高瀬町)
 - ◆瑞宝単光章
【専門工事業務功労】
洲崎 久晴(三野町)
- 危険業務従事者叙勲**
- ◆瑞宝双光章
【消防功労】
前川 活徳(仁尾町)
三木 通陳(三野町)
 - ◆瑞宝単光章
【警察功労】
汐見 省三(詫間町)
- 秋の褒章**
- ◆黄綬褒章
【業務精励(養鶏業)】
新延 修(三野町)

くらし

紙類・布類の持ち込み回収

▶問い合わせ 環境衛生課 ☎73-3007

日時 12月23日(日)
午前7時～9時
場所 各町の持ち込み場所
品目と出し方
新聞、雑誌、ダンボール、
紙パックは品目ごとに
紙ひもで十字に
縛って出して
ください。
布類は、透明または
半透明の袋に入れて
出してください。



募集

三豊市職員を募集します

▶申し込み・問い合わせ 人事課 ☎73-3002

募集人員
【試験区分】
・一般行政事務(高校卒業以上の
身体障がい者対象) 若干名
第一次試験日
平成31年1月20日(日)
試験場所 受験票送付時に通知
申し込み期間
12月10日(月)～21日(金)
(土・日曜日は除く)
提出場所 人事課(郵送可)
※郵送の場合は、12月21日(金)
必着
受験申込書・募集要項
人事課および各支所で配布しま
す。市ホームページからもダウン
ロードできます。なお、受験資格
などの詳細については募集要項を
ご覧ください。

お知らせ

三豊市見守りSOSステッカーができました！

▶申し込み・問い合わせ 地域包括支援センター(介護保険課内) ☎73-3017

協力員を募集しています
日常生活や仕事に支障のない範
囲で捜索活動に協力してもらえる
協力員および民間企業を募集して
います。興味がある人はお気軽に
お問い合わせください。



▲見守りSOSステッカー。
シールタイプとマグネット
タイプがあります

市では、認知症などにより徘徊、
行方不明になった場合の早期発
見・保護のため、迅速な情報伝達
の協力体制として『高齢者等見守
りSOSネットワーク事業』に取
り組んでいます。
このたび、この事業に賛同し、
捜索活動に協力いただいている地
域の協力員および民間企業や団体
などに、ステッカーを配布し、事
業の普及啓発を行うことになりま
した。
デザインされているキャラクタ
ー「みまもるんぼ」は、「トンボの
ように大きい目に、さらにゴーグ
ルをつけ、遠くまで見渡す。市の
花のマーガレットをマントにつけ、
正義感あふれる三豊市らしさで見
守る」というコンセプトで市内在
住の高校生が作成しました。

プロジェクト始動！ みとよクエスト ～冬を攻略篇～

三豊市は、今父母ヶ浜を中心に観光客が増え、盛り上がりを見せています！
この機会に三豊市のファンを増やすべく、広い市内を楽しみながら周遊し堪能してもらえる
プロジェクトを実施します。昨年夏に続く周遊プロジェクト第二弾は、『みとよクエスト～
冬を攻略篇～』。

市民の皆さんもぜひ参加してあらためて市内を回り、「買って！食べて！撮って！」満喫
しながら「三豊の魅力」を再発見しましょう！

平成31年
プロジェクト
実施期間 12月22日(土)～2月28日(木)



STEP 1 パートナーショップへGO！

チラシやアプリなどを確認して、行きたいお店へ行きま
しょう！パートナーショップでは「みとクエ」の合言葉で
何かお得なサービスが受けられるかも！？

※賛同店舗やサービス内容は来月号の広報みとよで紹介

STEP 2 三豊を堪能しよう！

市内のスポットやお店を巡って、写真を撮って、
一緒にみとよをアピールしよう！

写真を撮って得点を取りながら、市内のいろいろなお店やカフェ、
観光地などを楽しく回れるアプリを香川高専詫間キャンパスの学
生の皆さんと開発中です。レベルによって素敵なプレゼント
へ応募もできます。学生ならではのアイデアが詰まった三豊だけの
アプリがこの冬誕生します。皆さんも、ぜひアプリにご登録く
ださい！

あわせて#みとクエでSNSにもどんどん発信を！市内を隅々まで
巡って堪能し、あなたも三豊マスターになりましょう！

STEP 3 イベントに参加しよう！

今年の冬は
一味違います！

アプリと連動したイベントを期間中4～5回ほど開催します。イベント
だけの参加も大歓迎！マルシェなど、市内のお店が集まるにぎやかな
内容を考案中です。

「みとクエ」キックオフイベントを開催！『冬もあつい！父母ヶ浜』

父母ヶ浜海水浴場で開催！ 12月23日(日) 15:30頃～17:00

あったかマルシェ、音楽ステージなど…楽しめる内容を計画中

詳細が決まり次第、来月号の広報みとよや市ホームページなどで
随時お知らせします。お楽しみに！！

▶問い合わせ 産業観光課 ☎73-3013



※クエスト…探索、冒険のこと



12月3日から9日は

「障害者週間」です

「障害者週間」は、国民一人ひとりが広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めると共に、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした週間です。

この機会に「共生社会（障がいの有無に関わらず誰もが人格と個性を尊重し支え合う社会）」の実現に向けて、一人ひとりが普段の生活の中で自ら実施できる配慮や工夫について考え、取り組んでいきませんか。

障がいを理由とする差別をなくしましょう

障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も分け隔てなく生活できることをめざして、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されました。この法律では、以下のことが定められています。

①不当な差別的取り扱いの禁止

市役所や事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています。

②合理的配慮の提供

市役所や事業者が、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重過ぎない範囲で対応すること（合理的配慮）を求めています。

良い例

- ・聴覚障がい者には、ホテルや娯楽施設などの受付で、筆談や手話などの方法を利用し、コミュニケーションをとる。
- ・飲食店の従業員が視覚障がい者から「メニューが見えないので選べない」と言われたので、メニューを読み上げたり食べたい物を聞き取ったりして一緒に選んだ。

悪い例

- ・障がいがあることだけを理由に、バスやタクシー、宿泊施設などの利用を一方的に断った。
- ・飲食店に入ろうとしている障がい者を障がいがあるということを理由に断った。



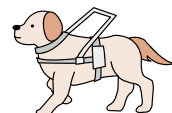
私たちはパートナー。障がい者とほじょ犬は、いつでもどこでも一緒に受け入れにご理解をお願いします



ほじょ犬は、目や耳や手足など身体に障がいのある人の生活をお手伝いするために、特別な訓練を受けています。公共施設や公共交通機関、商業施設や飲食店、病院などでほじょ犬の同伴を受け入れることは、「身体障害者補助犬法」で義務付けられています。

犬だからという理由だけで拒否せずに、受け入れにご理解をお願いします。

また、身体障害者手帳をお持ちの人で、盲導犬、介助犬、聴導犬の給付を希望する人は、福祉課にご相談ください。



障がい者を虐待から守りましょう

障がい者の虐待は、特定の人や家庭、場所ではなく、どここの家庭でも起こりうる問題です。虐待をしている人に、虐待をしている認識がない場合があります。また、虐待をされている人が虐待だと認識できずに、自分から被害を訴えられない場合があります。そのため、市民一人ひとりがこの問題を認識し、小さな兆候を見逃さずに早期に発見することが大切です。

虐待かどうかの判断が難しい場合でも「何か困っているようだ」「様子がいつもと違う」といった“気付き”でも結構ですので情報をお寄せください。早めの気付きが問題の深刻化を防ぐきっかけになります。

なお、通報や届け出をした人を特定する情報は守られます。

▶障がい者虐待に関する相談・通報先 市障害者虐待防止センター（福祉課内）☎73-3015/FAX73-3023 ※24時間受け付け。夜間や休日は宿日直が対応します。



障がいのある人の相談窓口を紹介します

障がいのある人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、悩みや疑問と一緒に考え、指導・助言を行います。何か生活上で困ったことや聞いてほしいことがあれば、下記の相談員にご相談ください。

●相談支援事業所、就業・生活支援センター

相談内容	相談先	電話番号	FAX
身体障がいについて	結	74-7211	74-7244
知的障がいについて	高瀬荘	74-7811	74-7818
精神障がいについて	ありあけ	57-5501	57-5502
障がい者の就労について	つばさ	24-8266	24-3738

●身体障害者相談員

氏名	電話番号
大西 廣	62-3298
新庄 利治	72-3402
岩本 吉進	72-2278
澗淵 久嘉	67-2353
石原 明	83-3668

●知的障害者相談員

氏名	電話番号
近藤 恵美子	74-7755
森 眞一	62-2043

（順不同）

ひきこもりについて悩んでいませんか

長期間、社会とのつながりがなく家庭にとどまり、これからどうしたらよいか分からず悩んでいませんか。本人だけでなく、家族からの相談も受け付けています。

相談先	電話番号
県ひきこもり地域支援センター「アンダンテ」	087-804-5115
西讃保健福祉事務所	25-2052
福祉課	73-3015

手話通訳者をご利用ください

毎週火曜日に手話通訳者を福祉課に配置しています。市役所での手続きや各種相談などでの意思疎通支援が必要な人はご利用ください。

また、聴覚障がいなどがある人のために手話通訳者の派遣も行っています。

▶申し込み・問い合わせ 福祉課 ☎73-3015/FAX73-3023

障がい者施設の出張販売を利用しませんか

障がい者施設で作られた商品を出張販売しています。ぜひ、ご利用ください。

日時

- 第2水曜日 午前11時頃～午後1時頃 『手作り菓子販売』（はあと ☎72-6201）
- 毎週木曜日 正午～午後1時頃 『竹灯籠、スイーツ』（さあかすチャレンジ三豊 ☎23-6685）
- 第1～4金曜日 午前11時頃～午後3時頃 『季節の花販売』（丸山作業所 ☎24-8205）
- 第2金曜日 午前11時頃～午後1時頃 『手作り赤飯販売』（はたらーく ☎89-1204）

場所 市役所本庁舎1階ロビー（第2・4金曜日の花販売のみ山本庁舎 玄関前でも販売）



ヘルプマークを知っていますか？

援助や配慮が必要な人のためのマークです

ヘルプマークは、外見からは分からなくても、周囲の人からの援助を必要としている人が身につけ、周囲から配慮を受けやすくなることを目的としたマークです。このマークの利用者を見かけたら、電車やバスの中で席を譲ったり、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

このマークは、福祉課および各支所で配布しています。（家族など代理人による受け取りも可能です）



▲ヘルプマーク



▲坂を上りながらコーナーを曲がります



◀長い下り坂を勢いよく通り抜けていきます



▶ラストスパートの接戦を制し、歓喜のガッツポーズ



▲前半は集団が固まりますが、周回を重ねると、グループにばらけてきます



▲沿道には、熱い声援を送るお客さんの人だかり

みとよサイクルロード宝山湖9th 高速レースを間近で観戦！

10/28 宝山湖(山本町)

9回目を迎えたみとよサイクルロードは、快晴の中開催され、選手たちは実力別の7レースに分かれて日ごろの成果を発揮しました。宝山湖周辺の1周3.5kmのアップダウンの激しいコースを舞台に熱戦が繰り広げられ、迫力あるレースを間近で観戦できるとあって、大勢の観戦客から出場者へ声援が送られました。

みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは
市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)



三豊市戦没者追悼式 平和への決意 新たに

11/8 マリンウェーブ

先の大戦で尊い命を失った方々をしのんで、戦没者追悼式が開催され、遺族や来賓など約400人が参列しました。式では、一人ひとりが祭壇に白い菊の花を手向け、追悼の意をさげるとともに、平和への決意を新たにしました。



どぶろくまつり 五穀豊穡を願って

10/20 宇賀神社(豊中町)

四国で唯一どぶろくを作るのが許されている宇賀神社で、今年も恒例のどぶろくまつりが開催されました。境内では、笠田小学校の子どもたちによる演芸大会や地元の七尾獅子舞や太鼓台の奉納も行われ、多くの人でにぎわいました。



大浜小学校閉校記念くすの庭発表会 地域の皆さんへ感謝を込めて

11/3 大浜小学校体育館(みどりの村管理センター)

本年度末で閉校する大浜小学校が、閉校記念行事として学習発表会を行いました。

「ようこそ竜宮城へPART2」と題した劇では、全校児童11人が浦島太郎や乙姫様に扮して、自慢のふるさと・大浜を紹介。ストーリーの中では、低・中・高学年がそれぞれ、町の様子や学校の樹木、伝統行事について調べた成果を披露しました。出し物が終わるたびに、会場からは惜しめない拍手が送られました。



▲浦島太郎と乙姫様の衣装を着た児童11人が「ありがとう大浜小学校」と感謝の気持ちを伝えました



▲ハンドベルと鉄琴・木琴を演奏し、11人全員で「ふるさと」を合奏



▲1・2年生は町探検で調べたことから、クイズを出題



▲3・4年生は学校の樹木の特徴を、木の精になって発表



▲5・6年生は地域の人から聞いた話をもとに、伝統行事を紹介



▲お客さんは、クラフト作家と直接話をしながら、作品を選んでいました



招き猫の絵付け体験もできました▲

第6回つくるフェスティバルinみとよ 大好評！クラフトと食の祭典

10/20~21 京吉瓦窯跡史跡公園・京吉かわらの里展示館

今回で、6回目となる「つくるフェスティバル」には、県内外から集まったクラフト作家のほか、パン＆スイーツマルシェなど40店舗を超える出店があり、大勢の人が訪れました。絵付け体験や木工製品のワークショップでオリジナルの作品が作れるとあって、子どもたちも夢中になっていました。直接作家から1点ものの作品が買えると人気のイベントで、地元の特産品やグルメも同時に楽しむことができました。

三豊ドリームカーフェスタ2018 スーパーカーが夢と一緒にやってきた！

11/11 ゆめタウン三豊ほか

5回目を迎えたドリームカーフェスタには、今回もフェラーリやポルシェ、ランボルギーニなどのスーパーカー約50台が、オープン10周年を迎えたゆめタウン三豊に集結。開会式後には、父母ヶ浜や津嶋神社などの市内の観光名所を回り、沿道にはスーパーカーを一目見ようと多くの家族連れや車好きな人が訪れました。



▲出発前にゆめタウン三豊に集まったスーパーカー

くらし

税務署からのお知らせ

▶問い合わせ 観音寺税務署 ☎25-2191 国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp>

公的年金などの受給者の皆さんへ
確定申告が必要な人、必要でない人
公的年金などの収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、その公的年金などの全部が源泉徴収の対象となる場合において、公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下であるときは、所得税および復興特別所得税の確定申告は必要ありません。しかし、所得税および復興特別所得税の還付を受けるためには、確定申告をする必要があります。また、公的年金などに係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が20万円以下で所得税および復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要ない場合があります。住民税に関する詳しいことは税務課(☎73・3006)にご確認ください。

確定申告書にはマイナンバーの記載が必要です
マイナンバーを記載した申告書などを提出する際は、マイナンバーカードなど本人確認書類を提示するか、その写しを申告書などに添付する必要があります。そして、申告書を作成する場合には、復興特別所得税の記入を忘れずをお願いします。

また、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」を利用すると、画面の案内に従って金額などを入力することにより、税額などが自動的に計算され、計算誤りのない申告書を作成することができます。ぜひ、ご利用ください。

参加しませんか？ 国税庁の公売
公売とは、国税局または税務署が差し押さえた財産を滞納された国税に充てるため、広く不特定多数の買受希望者を募り、売却することです。土地・建物といった不動産のほか、宝飾品、美術品、家電製品、自動車など、さまざまな種類の財産を公売しており、原則としてどなたでも参加できます。

国税局や税務署の公売会場まで足を運んで参加する方法や自宅のパソコン・スマートフォンなどから参加する方法があります。公売財産や公売予定日などの詳細については、国税庁ホームページの「公売情報」をご覧ください。



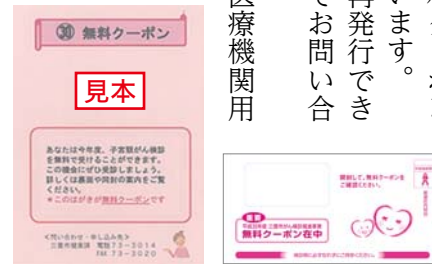
健康

がん検診の無料クーポン まだお手元にありませんか？

▶問い合わせ 健康課 ☎73-3014

対象者には、無料クーポンを6月に郵送しています。紛失した人は、再発行できますので健康課までお問い合わせください。

受診の際には、医療機関利用の受診票が必要です。なお、年末年始の診療時間、各医療機関にお問い合わせください。



《利用期限》
大腸がん検診
指定医療機関で12月末まで
子宮頸がん・乳がん検診
指定医療機関で平成31年2月末まで
(ただし、香川井下病院の乳がん検診は12月末まで)



お知らせ

社会体育施設利用希望調書を提出してください

▶問い合わせ 生涯学習課 ☎73-3135

平成31年度に、市内の社会体育施設を行事または大会で利用する、もしくは定期的に利用を希望する団体は「利用希望調書」を提出してください。

対象施設
体育館(アリーナ)、野球場、テニスコートなどの社会体育施設
詳しくは、市ホームページをご覧ください。

※学校体育施設の利用申請は、詳細が決まり次第、広報紙などでお知らせします。

提出書類
平成31年度三豊市社会体育施設利用希望調書
※行事・大会用と定期利用用があります。利用希望調書は、書類提出先の施設に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。



※複数の施設の利用を希望する場合は、1施設につき1枚提出してください。

提出方法
①生涯学習課または次の施設へ提出
高瀬B&G海洋センター、山本町生涯学習センター、三野支所、仁尾支所、豊中サンスポーツランド、詫間町体育センター、財田町総合運動公園
※閉庁日や休館日はお預かりできません。

②郵送にて送付
送付先
〒767-8585
三豊市高瀬町下勝間2373番地1
三豊市教育委員会事務局 生涯学習課宛
FAX・メールでの受け付けは行いませんので、ご注意ください。

提出期限 12月21日(金)
利用者の調整終了後、あらためて利用許可申請書の提出をお願いします。

第13回 市長杯卓球大会(団体の部) 結果

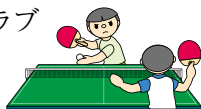
<硬式の部>

【男子団体戦】**優勝** 三野体協
準優勝 高瀬クラブ
第3位 詫間体協A・豊中体協A

【女子団体戦】**優勝** 高瀬中A
準優勝 T.M.C
第3位 高瀬クラブ

<ラージの部>

【ダブルス】**優勝** みのもん倶楽部A
準優勝 豊中ワハハクラブA
第3位 三宝A・三宝B



「自分の身は自分で守ろう。自分たちの地域は自分たちで守ろう」をキャッチコピーに、たくま防災フェスタが開催されました。体を低くして頭を守るシェイクアウト訓練を全員でしたり、水消火器体験など、子どもから大人まで楽しみながら防災を学びました。

地域への寄贈 ありがとうございます



NPO法人「和の会」から、市に車いす1台が寄贈されました。市長は、「今後市内の公共施設に設置し、有意義に活用させていただきます」と感謝の気持ちを伝えました。



日本道路建設業協会四国支部から、道の駅たからだの里に、発電機・投光器が寄贈されました。これは、国土交通省が道の駅を災害時の一次避難所とする方針を立てている一環で寄贈されたもので、停電時での救援活動・復旧活動などに利用します。

年末年始業務のお知らせ

市役所や市の関連施設は、年末年始の期間、下記のとおりお休みします。

施設・業務・問い合わせ先など			休業日など
市役所	本庁(☎73-3000)		12月29日(土)～1月3日(木) 出生・死亡・婚姻など戸籍の届け出は、本庁の宿日直が受け付けます。
文化施設	図書館	みとよ未来(☎72-5631)、山本(☎63-1041)、三野(☎73-3121) 豊中(☎62-6430)、詫間(☎83-6828)、仁尾(☎56-9565) 財田(☎67-0108)	12月28日(金)～1月3日(木)
	公民館	高瀬(☎73-3051)、山本(☎63-1041)、三野(☎73-3114) 豊中(☎62-1155)、詫間(☎83-8811)、仁尾(☎82-5106) 財田(☎67-0108)	12月28日(金)～1月3日(木)
	山本町生涯学習センター(☎63-1041)、仁尾町文化会館(☎56-9565)		12月29日(土)～1月3日(木)
	宗吉かわらの里展示館(☎56-2301)、詫間町民俗資料館・考古館(☎83-6858)		
	マリンウェーブ(☎56-5111)		
スポーツ施設	高瀬町体育館(☎73-3135)、高瀬B&G海洋センター(☎73-4700)、三野町体育センター(☎73-3111)、豊中町体育館(☎62-2071)、豊中サン・スポーツランド(☎62-6163)、豊中町トレーニングセンター(☎62-6540)、詫間町体育センター・詫間町武道館・詫間町市民運動場・詫間町水出運動公園(☎83-4307)、三豊市弓道場(☎83-6221、83-4307)、仁尾町体育センター(☎82-5100)、財田町総合運動公園・財田B&G海洋センター(☎67-3721)		12月28日(金)～1月3日(木)
	緑ヶ丘総合運動公園(☎72-1500)、山本ふれあい公園(☎63-1041)		12月28日(金)～1月4日(金)
福祉施設・児童館・その他	たかせ人権福祉センター(☎72-2501)、上高野文化センター(☎62-2377)、ふれあいプラザにお(☎82-2607)、前田児童館(☎72-5594)、豊中町児童館(☎62-1020)、上高野児童館(☎62-5463)、仁尾町児童館(☎090-1329-0592)		12月29日(土)～1月3日(木)
	豊中コミュニティセンター(☎62-5205)		12月28日(金)～1月4日(金)
病院	西香川病院(☎72-5121)		12月29日(土)～1月3日(木)
	永康病院(☎83-3001) ※救急の場合は、お問い合わせください。		
	財田診療所(☎67-3800)、志々島診療所(☎83-5708) 粟島診療所(☎84-7009)		
コミュニティバス	12月30日(日)～1月3日(木)は運休します。ただし、詫間線・荘内線は12月30日(日)・31日(月)も休日ダイヤで運行します。 ◆問い合わせ 管財課(☎73-3003) ◆委託業者 高瀬線・高瀬仁尾線(鴨田タクシー(株)☎72-2121)、山本線・財田観音寺線2号車(本山タクシー(株)☎62-2128)、三野線・高瀬観音寺線(有)さくらタクシー☎72-5048)、財田高瀬線(株)エコロジーパン☎62-5787)、豊中仁尾線(イロハタクシー(有)☎25-1682)、詫間三野線(有)詫間交通☎82-7888)、詫間線1号車・荘内線(有)浦島観光☎84-6350)、詫間線2号車(藤田自動車整備工場(株)☎73-6182)、仁尾線(西讃観光(株)☎24-2918)、財田観音寺線1号車(※12月以降変更の予定あり。別途ホームページでお知らせします。)		
ごみ収集	12月30日(日)～1月3日(木)は、ごみの収集はありません。 ◆問い合わせ 環境衛生課(☎73-3007)		
引取り犬	年内は12月28日(金)まで。年始は1月4日(金)から平常業務となります。 ◆問い合わせ 環境衛生課(☎73-3007)		
し尿汲み取り	年内に汲み取りを希望する人は、下記の日までに居住地の許可業者へお申し込みください。 ◆12月15日(土) 詫間町(有)詫間清掃☎83-2419) ◆12月17日(月) 豊中町(有)豊中衛生社☎62-2015)、財田町(株)財田クリーン☎67-2182) ◆12月20日(木) 山本町(株)山本衛生社☎63-2312) ◆12月21日(金) 三野町(有)三野津衛生社☎72-1086)、仁尾町(株)アドバンス☎82-2783) ◆12月27日(木) 高瀬町(株)ダックス☎72-5467) 年始は1月4日(金)または7日(月)から平常業務となります。詳しくは許可業者にお問い合わせください。		
水道	水道の開栓・閉栓・名義変更の受け付け、水道料金の収納は、県広域水道企業団三豊事務所料金センターで午前8時30分から午後5時15分まで受け付けます。ただし、12月29日(土)～1月3日(木)は休業します。 ◆問い合わせ 県広域水道企業団三豊事務所料金センター (☎62-2142) 断水や水漏れなど緊急を要する用件は、全日対応します。 ◆問い合わせ 三豊市上下水道工事業協同組合(☎62-6561)		

その他の施設については、早めに各施設へお問い合わせください。

お知らせ

放置竹林対策や里山環境整備の一部を補助します

▶申し込み・問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040
 かがわ森林・山村多面的機能発揮対策協議会(事業①) ☎087-861-4352
 県西部森林組合(事業②) ☎0877-79-3120

事業名	事業内容	補助内容
① 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業	地域住民、森林所有者などが協力して実施する里山林の保全、森林資源の利活用などの取り組みを支援する事業。 原則3人以上の活動組織で、3年間の活動計画などを作成。	【地域環境保全タイプ】 侵入竹の伐採・除去活動や里山林の景観を維持するための活動に対して、一定の費用を支援。 【資機材への支援】 必要な機材および資材の購入・設置に対して、必要額の1/2～1/3を補助
② 里山環境整備事業	集落、農地や道路周辺などに隣接する放置竹林を伐採し、広葉樹などを植栽する事業。 事業の実施主体は、森林所有者やNPO法人などで1施工地面積要件は1,000㎡以上。	【放置竹林整備推進事業】 集落、農地から概ね50m以内の森林で、地目が山林の土地が対象。 竹の伐採、造林などにかかる経費および諸経費に対して、97%を補助

地域住民、森林所有者などが協力して実施する里山林の保全や森林資源の利活用などの取り組みを支援します。

- ・荒れている竹林の手入れをしたい
- ・薪など地域の資源を活用して、山村を活性化したい
- ・子どもたちに、森林の中で自然体験をさせたい
- ・森林整備のための作業道を作りたい
- ・竹林を伐採し、広葉樹に植え替えたい

お知らせ

原付や小型特殊自動車にナンバープレートは付いていますか

▶問い合わせ 税務課 ☎73-3006

軽自動車税は、原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車(農耕用含む)、二輪の小型自動車を所有しているという事実に対して所有者に課税され、納税義務が生じます。

原動機付自転車・小型特殊自動車を所有する人

ナンバープレートは、課税対象であることを示す課税標識を兼ねています。公道を走行しなくても、車両への附着義務があり、標識の返納(廃車)は、「廃棄」「譲渡」「転出」「盗難・紛失」の場合に限り、受け付けられます。

ナンバープレートが付いていない原付・小型特殊車などを持っている人は、必ず、税務課または各支所で標識交付申請手続きをしてください。標識がないまま車両を所有している期間については、さかのぼって課税される場合があります。

乗用の田植機、コンバインおよびトラクターなど(農耕用小型特殊自動車)も、使用の有無や、道路を走行するしないにかかわらず、所有している人は、市へ登録することが義務付けられています。



募集

市営墓地の使用者を募集します

▶申し込み・問い合わせ 環境衛生課 ☎73-3007

！
個人の土地(宅地や農地の一画など)に墓所を設けることはできません。

資格要件
 次のいずれかの要件を満たす人
 ・市内に本籍がある人
 ・市内に引き続き1年以上住所を有している人
 ※申請書は、環境衛生課または各支所にあります。
 ※ホームページ「ライフイベント ↓おくやみ」から閲覧できます。



所在地 詫間町詫間7053番地4
 募集区画数 146区画 (3.00㎡～7.78㎡)
 永代使用料 402,000円～722,260円

詫間中央霊園の使用者を募集します。希望する人は、環境衛生課または各支所でお申し込みください。

健康

12月1日スタート!かがわ健康ポイント事業

マイチャレかがわ! が始まります

▶問い合わせ マイチャレかがわ運営事務局 ☎087-861-8139 (平日午前10時~午後5時)
健康課 ☎73-3014

県全体で県民の皆さんの健康づくりを後押しする環境づくりを推進するため、かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ!」を12月1日から新たに開始します。家族や職場の仲間、友人を誘い合い、参加してみませんか。

内容 ウォーキングや朝ごはんを食べるなどの目標「マイチャレンジ(マイチャレ)」の達成、健康診断やがん検診の受診、献血やボランティア活動などの社会参加に健康ポイントを付与して、一定の健康ポイント数を獲得した人が「マイチャレカード」を受け取り、これを提示すると県内の協力店でサービスを受けることができ、さらに、賞品が当たる抽選にも参加できます。

対象者 小学生以上の県民

実施期間 平成31年3月1日まで

参加方法

「記録シート(紙)」または「スマートフォンアプリ」を用いて、健康ポイントを貯めます。

※「記録シート(紙)」は県広報誌12月号と共に配布していますが、WEBサイトからもダウンロードできます。「スマートフォンアプリ」は、12月1日からダウンロードが可能です。

詳しくは、ホームページをチェック!
<https://mychalle-kagawa.com>



健康

知っていますか?『フレイル』

▶問い合わせ 健康課 ☎73-3014
県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎087-811-1866

フレイル(Frailty)とは病名ではなく、筋肉や心身の活力が低下し、健康障がいを起こしやすい状態を表す言葉です。高齢者の多くはフレイルを経て要介護状態に至るといわれています。

加齢に伴う食欲や活動量・筋力の低下などが、低栄養や転倒、軽度認知障がい(MCI)などの危険な加齢の兆候へとつながります。元気に日常生活を送り、健康寿命を延ばすためにはフレイルの予防・改善が大切です。

あなたは大丈夫ですか?『フレイル』チェックしてみましょう

- 買い物でペットボトル(2kg程度)などを運ぶのが困難になった(筋力の低下)
- 外出する機会が減った(身体の活動性の低下)
- 最近体重が減った(6カ月で2~3kg程度)
- 横断歩道で青信号の間に渡るのが難しい
- 疲れやすくなった

3つ以上当てはまると、**フレイル**。
1~2つ以上当てはまると、**フレイル予備軍**の可能性があります。

生活習慣を見直してフレイルを予防・改善!

「栄養」「運動」「社会参加」の健康長寿3つの柱を意識して生活をしましょう。

栄養

バランスよく、しっかり食べましょう。また、歯の状態が良くないと飲み込む機能の低下につながります。歯の定期検診を受けましょう。

運動

1日中家で過ごすことが多くなると、脳への刺激が減ってしまいます。散歩など外出する機会を増やしましょう。

社会参加

趣味やレクリエーションを楽しむことは、人生が豊かになるだけでなく、認知症を防ぐためにも大変有効です。



じんけん探訪66

12月4日から10日は「人権週間」です

世界人権宣言70周年

人権週間は、1948(昭和23)年12月10日に国連で「世界人権宣言」が採択されたのが由来であり、今年は採択から70周年になります。

20世紀には世界大戦が2度も発生し、特に第2次世界大戦ではユダヤ人迫害や原爆投下などで大量の犠牲者が出ました。悲惨な経験の反省から、人権尊重社会の確立によって自由と平和を確保する考えが広がり、人権保障の国際基準を定めた世界人権宣言が採択されました。2年後には、12月10日が「人権デー」とされ、世界中で人権と平和を訴える取り組みが行われています。

日本では1949(昭和24)年に法務省と全国人権擁護委員連合会が「人権週間」を提唱し、各地で世界人権宣言の主旨や人権尊重意識の普及、啓発活動などが行われています。



人権は幸せを求める権利

「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立

法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」これは、憲法第13条の人権条項です。1947(昭和22)年に施行され、人権尊重の社会づくりが始まりました。しかし、長く続いてきた慣習や伝統の中には、新しい人権規範と相容れないものが残っています。それが人権問題になることがあります。

大相撲で女性排除

例えば、大相撲で「土俵の上に女性を上げない」のは「女性差別」か「伝統」かが話題になっています。土俵上で男性市長が倒れ、救命しようとして女性が土俵に駆け上がった時、「女性は降りてください」とアナウンスが流れました。マスコミでは「女人禁制は時代遅れ」との報道がありますが、相撲協会は「伝統。大相撲の土俵上は男性だけの厳しい世界」とコメントしています。何らかの理由で始まったことでしょうか、現代の人権感覚ではどうでしょうか。皆さんはどう思いますか。

生命保険と遺伝情報

ある生命保険会社の約款では「健康状態。遺伝、既往症など」を加入審査の基準にしています。同様の内容が生保業界33社で確認され、金融庁は削除するよう指導しました。保険業法第5条では、特定の人に対する不当な差別的取り扱いを禁止しています。欧米では「遺伝差別」を法律で規制する国もあります。

遺伝病とは、遺伝子や染色体が突然変異な

どの異常によって病気が発症することです。病気因子が遺伝して必ず発症するものではありません。発症するかどうかは免疫力や体力などの諸要因によるのですが、「遺伝病は必ず発症する病気」との誤解が古くから根強く、病歴や障がいについての身元調査や差別が起きている。

迷信や習慣を人権尊重の観点から、また合理的な視点から見直してみましよう。

人権週間にちなんだ市内のイベント

たかせ人権福祉センター 文化祭
前田児童館 文化祭

日時 12月8日(土) 午前9時~午後2時
内容 作品展示・バザーなど

▼問い合わせ
たかせ人権福祉センター ☎72・2501
前田児童館 ☎72・5594

人権課からのお知らせ

結婚や就職に係る身元問い合わせや、差別発言、差別落書き、えせ同和行為などは、差別や人権侵害につながるおそれのある行為です。
こうした差別を助長するおそれのある事案が発生した場合には、人権課へお知らせください。

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008

募集

自衛官(特別職国家公務員) 募集

区 分	応募締め切り
自衛官候補生	随時受付中
陸上自衛隊・ 高等工科学校生徒	平成31年 1月7日(月)まで

申問 自衛隊観音寺地域事務所
☎25-6122

第7回「わたしの焼き物お宝展」
展示作品募集

受 12月16日(日)まで
午前9時～午後5時開館(月曜休館)
募集作品 家宝や思い出のある焼き物
応募方法 展示館に直接持ち込み
※平成31年1月5日(土)～27日(日)
の展示期間終了後に、直接本人が
引き取りに来てください。

申問 宗吉かわらの里展示館
☎56-2301

砂原児童基金(平成31年度校外教育
スポーツ奨学金事業) 奨学生募集

内 学校外教育(塾やスポーツ教室な
ど)にかかる経費を助成します
対 経済的理由から学校外教育を十
分受けられない小学生から高校生
受 平成31年1月15日(火) 必着
※詳細は財団ホームページに掲載
申問 (公財) 砂原児童基金
☎087-837-2230

放送大学4月生(平成31年度1学期)
募集

テレビ放送やインターネットを利用
して授業を行い、心理学や福祉、経
済など幅広い分野を学べます。
受 平成31年3月17日(日) まで
申問 放送大学香川学習センター
☎087-837-9877

相談

精神保健相談日(要予約)

【思春期相談】
時 12月10日(月) 午後2時～
【心の健康相談】
時 12月20日(木) 午後4時20分～
場 西讃保健福祉事務所
申問 西讃保健福祉事務所
☎25-2052

社会保険労務士による出張年金相談

時 12月12日(水)・25日(火)
午前10時～午後3時
場 12日: 危機管理センター
25日: 山本庁舎
内 年金相談や年金請求・各種手続
きの受け付け
持 年金手帳、相談者本人であるこ
とを確認できるもの。代理人の
場合は、委任状と代理人本人で
あることを確認できるもの
問 街角の年金相談センター高松
(オフィス) ☎087-811-6020
市民課 ☎73-3005

青年・成人の発達障がいに関する
相談会(要予約)

時 12月21日(金) 午後1時30分～
場 みとよ未来創造館
対 16歳以上の当事者およびその家
族、関係者など
内 生活や仕事などの「困りごと」
に対して相談
申問 福祉課 ☎73-3015

全国一斉生活保護ホットライン

時 12月18日(火) 午前10時～午後1時
☎0120-158-794(通話料無料)
※上記番号は相談日のみ開設
問 県弁護士会 ☎087-822-3693

講座・教室

市総合体育館12月健康教室

【初心者のためのトレーニング講座】(要予約)
時 12月8日(土)
午前10時30分～11時30分
料 200円
【バランスボール講座】(要予約)
時 12月9日(日)
午前10時30分～11時30分
料 200円
【健康相談と運動処方】
時 12月1日(土)・9日(日)
午前9時～10時30分
6日(木)・13日(木)・20日(木)
午後0時30分～2時
内 各種トレーニング機器を使った
効果的な運動を専門のインスト

ラクターがサポートします
料 200円
申問 市総合体育館 ☎72-1500
三豊総合病院 みとよサブリ
時 12月19日(水) 午後1時30分～2時
テ インフルエンザとノロウイルスを
予防しよう
申問 健康管理センター ☎52-3366

三豊総合病院12月健康教室(要予約)

【夜間糖尿病教室】
時 12月13日(木) 午後6時～7時
【食べて治して、ハッピーライフ】※₁
時 12月14日(金) 午前10時～正午
【腎臓病教室】※₁
時 12月20日(木)
午前10時30分～午後1時
【男性の調理実習】※₁
時 12月5日(水)
午前10時～午後0時30分
料 調理実習(※₁)は600円が必要
申問 健康管理センター ☎52-3366
詫間町民俗資料館・考古館体験講座
【しめ縄をつくろう】
時 12月22日(土) 午前9時～11時
数 15人程度
料 200円
注 小学生低学年以下は保護者同伴
申問 詫間町民俗資料館・考古館
☎83-6858

干支の張り子絵付け体験

時 12月9日(日) 午前10時～正午

場 宗吉かわらの里展示館
内 干支の張り子に絵付けをして、オリ
ジナル作品を作る
数 12人(先着順)
料 1,500円(材料費)
申問 宗吉かわらの里展示館
☎56-2301

中学生のための高専数学講座

時 12月22日(土)
午前9時～11時30分
場 香川高等専門学校詫間キャンパス
内 数学の過去の入試問題を解いて、
数学教員が解説
対 中学3年生
数 20人(要予約・先着順)
持 筆記用具、飲み物
申問 香川高専詫間キャンパス
(地域連携係) ☎83-8507

イベント

新春初歌い
カラオケイベント出場者募集

時 平成31年1月12日(土) 午後2時～
場 ポートレースまるがめ
数 20人 ※応募多数の場合は抽選
受 12月10日(月) 必着
申問 中讃ケーブルビジョン
☎0877-24-6110

飴湯の接待

時 12月15日(土) 午前9時～
※無くなり次第終了

場 道の駅たからだの里さいた物産館
問 道の駅たからだの里さいた物産館
☎67-3883

第40回 四国地区高等専門学校
総合文化祭

時 12月15日(土)・16日(日)
場 マリンウェーブ、詫間福祉センター
内 吹奏楽演奏、ロボットコンテス
トなど
問 香川高専詫間キャンパス
(学生係) ☎83-8517

ガーデンセミナー
“正月の寄植え作り”

時 12月16日(日)
午後1時30分～3時45分
場 坂出市番の州公園管理事務所
内 正月用の材料を使った寄植えづ
くりや園芸相談会など
料 2,500円(材料費)
数 15人(先着順)
講 NPOかみは 廣瀬典治氏
申問 坂出緩衝緑地管理事務所
☎0877-45-6820

その他

鳥獣被害対策に関する補助事業
の受け付けを終了します

平成30年度の「被害対策用ネット
等設置事業」および「駆除用器具等
購入補助事業」の受け付けは、12月
21日(金)までです。対策を検討して
いる人は、早めに相談してください。
問 農林水産課 ☎73-3040

マリンウェーブ情報

マリンウェーブ ☎56-5111

樹木希林追悼上映会
「モリのいる場所」

樹木希林・山崎努主演。喜びも悲しみも
乗り越えて結婚52年目。
時 12月8日(土)
①午前10時30分
②午後1時30分
料 【全席自由】
シルバー(60歳以上) 1,000円
一般前売り 1,300円
ほか

中国雑技
～芸術の祭典～

驚きの早業!!変面!
時 平成31年
1月27日(日)
開演 午後2時
料 【全席自由】
一般前売り 2,500円
(当日 3,000円)
小中学生 1,000円
※未就学児は無料



筒井志帆ヴァイオリンリサイタル in 三豊
～新春の香を音の便りにのせて～

時 平成31年 1月19日(土) 開演 午後2時
料 【全席自由】 一般 2,000円
高校生以下 1,000円

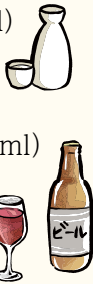
アルコールの適量を守りましょう!

お酒は飲み方によって食欲を増進させたり、
ストレスを和らげたりします。しかし、飲みす
ぎると肝臓病や心臓病、糖尿病、肥満など
の原因となります。
適量を超えた飲酒は、身体に大きな負担を
かけます。週に2日間の休肝日を決めて、適
量をゆっくりと飲むように心がけましょう。

種類別適量の目安

ビール 中びん1本(500ml)
日本酒 1合(180ml)
焼酎(25度) 100ml
ワイン(12度) グラス2杯弱(200ml)
ウイスキー ダブル1杯(60ml)
*女性はこの半量が目安です

問 健康課 ☎73-3014





脳きらり教室 地域包括支援センター ☎73-3017
認知症予防と病気への理解を深めるための教室

日 程	時 間	場 所
11日(火)	13:30~15:00	みとよ未来創造館
12日(水)		マリンウェーブ
14日(金)		山本町保健センター
17日(月)		三野町保健センター
18日(火)		市民交流センター
21日(金)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
26日(水)		仁尾町文化会館

精神デイケア 福祉課 ☎73-3015

日 程	時 間	場 所
5日(水)	10:00~11:30	豊中町保健センター(さくらの会)
12日(水)		
25日(火)	13:30~15:00	詫間福祉センター(みつより会)

休日当番医 ※休日当番医は、都合により変更になることがあります
※🔪=歯科の診療時間は午前9時から正午まで

日 程	医療機関名	市町名	電話番号
2日(日)	山地利科医院	三野町	72-2577
	おざきこどもクリニック	観音寺市	24-6789
	🔪よしだ歯科クリニック	観音寺市	25-8773
9日(日)	みずた内科	詫間町	83-7218
	クニタクリニック	観音寺市	25-1577
	🔪たくま歯科医院	三野町	73-5581
16日(日)	そがわ医院	豊中町	62-2357
	中央クリニック	観音寺市	25-0755
	🔪中島歯科医院	観音寺市	25-3069
23日(日)	大西医院	山本町	63-2081
	辻整形外科医院	観音寺市	57-1100
	🔪久保歯科医院	観音寺市	52-2009
24日(月)	しのはら医院	山本町	56-7222
	宮崎内科医院	観音寺市	25-1280
	安藤内科医院	高瀬町	72-5018
30日(日)	石川医院	観音寺市	54-5511
	🔪豊永歯科クリニック	観音寺市	25-9664
	西香川病院	高瀬町	72-5121
31日(月)	もりの木おとしクリニック	観音寺市	25-3291

相 談 名	日 程	時 間	場 所	問 い 合 わ せ
行 政 相 談	3日(月)	10:00~15:00	市民センター仁尾	総務課 ☎73-3000 または各支所
		13:00~15:00	みとよ未来創造館	
	5日(水)	13:00~15:00	市民センター三野(インパルみの隣)	
	10日(月)	10:00~12:00	財田庁舎	
		13:00~15:00	山本庁舎	
	12日(水)	9:00~12:00	豊中庁舎	
人 権 相 談	3日(月)	10:00~13:00	みとよ未来創造館	人権課 ☎73-3008 または各支所
		10:00~15:00	市民センター仁尾	
	5日(水)	10:00~15:00	山本町農村環境改善センター	
		10:00~15:00	詫間福祉センター	
	6日(木)	10:00~15:00	財田庁舎	
	12日(水)	9:00~12:00	豊中庁舎	
職 業 相 談	10日(月)	10:00~11:30	たかせ人権福祉センター	たかせ人権福祉センター ☎72-2501
農 事 相 談	7日(金)	13:30~16:00	危機管理センター ※対象地域は三野・豊中・詫間・仁尾	農業委員会 ☎73-3046
就 農 相 談	17日(月) 27日(木)	13:00~16:00 (要予約)	西讃農業改良普及センター ※対象は、新規就農予定者・就農5年以内の農業者 ※毎月第3火曜日 農業制度資金相談会開催中	西讃農業改良普及センター ☎62-3075
よろず三豊 サテライト	5日(水)	9:00~17:00 (要予約)	危機管理センター	産業観光課 ☎73-3013
	19日(水)		インパルみの	

健康相談 健康課 ☎73-3014
高血圧・糖尿病など生活習慣病の予防、禁煙などの相談

日 程	時 間	場 所
6日(木)	9:30~11:00	詫間福祉センター
12日(水)		山本町保健センター
14日(金)		豊中町保健センター
17日(月)		三野町保健センター
18日(火)		市民センター仁尾
20日(木)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
26日(水)		みとよ未来創造館

高齢者あんしん相談 地域包括支援センター ☎73-3017
認知症や介護に関すること、成年後見制度や高齢者虐待などの相談

日 程	時 間	場 所
3日(月)	10:00~11:00	市民センター仁尾
10日(月)		三野町保健センター
11日(火)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
13日(木)		三豊市役所
19日(水)		豊中庁舎
20日(木)		山本町保健センター
26日(水)		詫間福祉センター

みとよ元気運動塾 転倒予防のための運動教室 地域包括支援センター ☎73-3017

日 程	時 間	場 所
6日(木)	10:00~11:30	山本町保健センター
	13:30~15:00	財田町国保高齢者保健福祉支援センター
10日(月)	10:00~11:30	市民交流センター
	13:30~15:00	みとよ未来創造館
19日(水)	10:00~11:30	マリンウェーブ
21日(金)	10:00~11:30	三野町保健センター
	13:30~15:00	仁尾町文化会館
25日(火)	10:00~11:00	二ノ宮農業構造改善センター

こころの相談 福祉課 ☎73-3015
人間関係の悩みやうつ病などの心の病気、障がい福祉サービスの相談

日 程	時 間	場 所
14日(金)	10:00~11:30	詫間福祉センター
17日(月)	13:30~15:00	みとよ未来創造館

香川労働局からのお知らせ

最低賃金が変わります

香川県最低賃金は、平成30年10月1日から、時間額792円が適用されます。※産業によっては、これとは別に特定最低賃金が定められているものがあります。

問 香川労働局労働基準部賃金室
☎087-811-8919

石綿による健康被害を受けた人のご遺族へ

労災保険法では、業務上で死亡した労働者の遺族補償給付の請求権は5年で時効となります。しかし石綿による健康被害が原因で死亡したときは、5年以上経過していても石綿救済法の特例により、2022年3月27日まで特別遺族給付金の請求ができます。

問 観音寺労働基準監督署
☎25-2138

税務課からのお知らせ

12月は、固 定 資 産 税 (第3期分)
国 民 健 康 保 険 税 普 通 徴 収 (第6期分)
介 護 保 険 料 普 通 徴 収 (第6期分)
後期高齢者医療保険料普通徴収 (第6期分)
の納付月です。

口座振替日および納期限 12月25日 (火)

☆納期限内に納めましょう。

■督促手数料■

地方税法では、納期限までに納付がなかった場合は、「納期限後20日以内に督促状を発ししなければならない」ことになっています。市では、このことを受けて督促状を発送し、条例により督促手数料を徴収することと定めています。

☆市税等の納付は、便利な口座振替をご利用ください。

▶問い合わせ 税務課 ☎73-3006

農業は正しく使いましょう

農業を扱う人は、農業による事故防止のため、次のことに注意しましょう。

・農業使用基準を守りましょう。
(適用作物、使用量・希釈倍数、使用時期、使用回数)

・住宅地周辺では農業の飛散防止対策を立てるとともに、周辺住民に配慮しましょう。

・農業の飛散を減らすため、散布時の基本的事項(農業散布の方向・位置・風向きの注意、適切なノズル・圧力の使用)を励行しましょう。

・農業を販売するときには、登録のある農業を扱うとともに、購入者が適正に使用するよう正しく説明しましょう。

問 県農業経営課 ☎087-832-3411

ご存知ですか？ 檢察審査会

交通事故・詐欺などの犯罪の被害にあったが、検察官がその被疑者を起訴(裁判にかけること)してくれないなどの不満をお持ちの人は、ご相談ください。

問 丸亀檢察審査会事務局
☎0877-23-5281

心温まる贈りもの (10月受付分)

このたび、次の皆さまより善意のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同)

社会福祉協議会へ

金 田 則 子 (山本町)

教育委員会へ

岡 根 勉 (大阪府)

火葬場の休場日 (1月)

時 平成31年1月1日(火)、18日(金)

問 環境衛生課 ☎73-3007

オレンジかふえ開催のお知らせ ☕ (12月)

認知症が気になる人や認知症の人とその家族、地域の人など、誰もが気軽に集える場所です。月替わりの講話やイベントをはじめ、個別の相談ができます。お気軽にご参加ください。

日程	時間	場 所
5日(水)	13:00~15:00	介護老人保健施設 白寿の杜(詫間町)
12日(水)	13:30~15:30	三野町保健センター内 太陽の家
20日(木)	13:00~15:00	みんなの訪問看護ステーション(高瀬町)
	14:00~16:00	特別養護老人ホーム 優楽荘(山本町)

※12月のCaféとよなかはお休みです。

料 100~300円

問 地域包括支援センター ☎73-3017



観光&国際交流

▶申し込み・問い合わせ

三豊市観光交流局 ☎56-5880(火曜休館)

三豊市 私のおすすめの島フォトコンテスト



応募期間 12月20日(木)~平成31年1月21日(月)
結果発表 平成31年2月下旬頃、入賞者へ直接通知します。
各入賞作品は、マリンウェーブ内にて展示します。

賞 最優秀賞 1 作品・優秀賞 4 作品・佳作 10 作品

詳しくはホームページをご覧ください。www.mitoyo-kanko.com



10月の市内交通事故発生状況 ()内は前月比 発生件数14件(+2) 死者数0人(0) 負傷者数19人(+6)

子育て情報満載!!
 みとよ子育てネット
 ここ笑みホームページ
<http://www.kokoemi.jp/>
 ♪ケータイ・スマホは
 こちらからアクセス!



はじめまして
 10月生まれの
 赤ちゃん
29人
 (男の子 19人
 女の子 10人)

子育てするなら
 三豊が一番!

ここ笑み通信

子ども・子育て・笑顔のみとよ

★12月のお知らせ★

乳幼児健診			
対象	日程	受付時間	場所
4カ月児健診 (平成30年8月生まれ)	18日(火)	13:30 ~ 13:50	三野町 保健センター
	25日(火)		
1歳6カ月児健診 (平成29年5月生まれ)	5日(水)		
	27日(木)		
3歳児健診 (平成27年5月生まれ)	6日(木)		
	13日(木)		

10カ月児相談			
対象	日程	受付時間 (開始時間)	場所
平成30年2月生まれ	18日(火)	13:00~ 13:10 (13:15)	三野町 保健センター
	25日(火)		

◎乳幼児健診・相談は子どもの成長や発達を知る節目の時期に実施しています。
 ぜひこの機会に受けましょう。

児童相談		
対象	日程・時間	場所
18歳未満の子どもと その保護者 (希望者は21日までに電話 でお申し込みください)	25日(火) 13:30~16:00	市役所3階

◎県の専門員が相談に応じます ◎保護者のみの相談も可能です

パパママ教室		
対象	日程・時間	場所
16週以降の妊婦と家族 (希望者は3~14日までに お申し込みください)	16日(日) 9:30~11:45	三野町 保健センター

M's Smile ふおとぎやらしい 12月生まれ



たなべ しおり
 ①田邊 菜里ちゃん
 ②2017年12月14日
 ③大・朱実(三野町)
 ④宝物の菜里ちゃん。
 皆で仲良く、これか
 らも元気に育ってね。



たくま はるき
 ①詫間 晴生ちゃん
 ②2017年12月30日
 ③章弘・芙美(詫間町)
 ④わが家のアイドル
 次男坊!!たくさん
 笑って大きくなっ
 てね!!



ぎょうとう れい
 ①行燈 凛ちゃん
 ②2017年12月28日
 ③竜二・伶奈(豊中町)
 ④ここに笑顔のれい
 ちゃん♡いつも癒し
 てくれてありがと
 う!

①おなまえ②生年月日
 ③保護者名(町名)④メッセージ

2月生まれの
愛どる募集

申し込み方法 12月10日(月)~28
 日(金)の期間に市ホームページから
 申請書をダウンロードし、必要事
 項を記入の上、写真を添えて秘書課
 まで持参してください。また、メー
 ルでお申し込みの場合は、申請書と
 写真データを添付してhisho@city.
 mitoyo.lg.jp までお送りください。
 ▶申し込み・問い合わせ
 秘書課 ☎73-3001
 ※このコーナーの個人情報営業目的など
 に利用することを禁じます。



楽しい歯磨き教室			
対象	日程・時間	場所	
10カ月~3歳(市内 在住)の子どもと保 護者(申し込み不要)	10日(月) 10:00~11:00	高瀬地域 子育て支援 センター	

▶申し込み・問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016

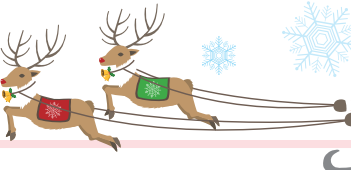
発達障がい相談会			
対象	日程	受付時間	場所
18歳までの発達 障がいや発達の 気になる子ども を持つ保護者、ま たは本人(要申込)	8日(土)	9:00~ 13:00	三野町 社会福祉 センター
	22日(土)		三野町 保健 センター

▶申し込み・問い合わせ
 NPO法人西讃教育支援ネットワーク(S&S ネット)
 代表 秋山茂利 ☎080-4998-1137

げんきのき
 クリスマスコンサート

日 時 12月16日(日) 午後1時30分開演
 場 所 みとよ未来創造館
 内 容 読み聞かせやパネルシアターを交え
 たクリスマスコンサート

▶問い合わせ みとよ未来図書館 ☎72-5631



平成31年度 放課後児童クラブ 入会のご案内

1 対象
 保護者が仕事などで昼間家庭にいない市内の
 小学生
 ※来春新入学予定の児童も含みます。
 ※5・6年生は、生活環境などについて聞き取り調
 査を行う場合があります。

2 開設日
 月~土曜日と長期休業中(祝日、年末年始など
 を除く)
 ※土曜日は希望保育となるため、利用希望日の1週
 間前までに申請書の提出が必要です。

3 開設時間
 平常登校日:放課後~午後6時
 土曜日・長期休業日:午前8時~午後6時(原則)

4 保護者負担金 (通年利用の場合)
 月額3,000円 ※ただし8月のみ6,000円
 ※減免制度があります。詳細は、みとよ子育てネッ
 トここ笑みホームページをご覧ください。

5 申請期間
 12月3日(月)から平成31年1月9日(水)まで

勉強も遊びも、みんなが一緒だと楽しいね!



6 申請書配布場所・申し込み先
 子育て支援課、各支所、各放課後児童クラブ
 ※申請書は、みとよ子育てネットここ笑みホーム
 ページからもダウンロードできます。

7 必要書類
 1. 入会申請書(児童1人につき1枚)
 2. 児童家庭調査票(1世帯につき1枚)
 3. 保護者(父母など)の就労証明書または就
 労予定書
 ※就労予定者の場合は、承認期間を承認から3
 カ月とします。
 4. 保険加入意思表示書
 5. 保護者などが病気療養中、母親が出産など
 の場合は診断書の写し、母子手帳の写しな
 ど、証明できる書類

8 注意事項
 1. 就労証明書などの必要書類が添付されてい
 ない申請書は受け付けできません。
 2. 長期休業のみの入会についても、申請期間
 内に申請してください。
 3. 申請書などの受理後、内容を審査して承認
 する場合は「放課後児童クラブ入会承認通
 知書」を交付します。
 4. 保育料に未納がある場合は、承認できない
 ことがあります。
 5. 利用は自動更新ではありません。利用する
 際は、毎年申請書を提出する必要があります。

▶問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016



蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 72

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚
花いっぱい運動
平成3(1991)年
詫間町

※文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返ししますので、情報の提供をお願いします。【文書館 ☎63・1010】

詫間町では、平成5(1993)年の東四国国体に向けて、昭和63(1988)年頃から花いっぱい運動を展開する。平成3(1991)年には、「花いっぱい運動推進計画」を策定、推進協議会も設立し、運動の進め方について報告書が提出されるなど運動を加速していった。詫間駅から国体会場となる弓道場までのメインロードを中心に花木が植えられ、住民ボランティアが花の植え替えや管理を行った。

「思い出のページ」

「花いっぱい運動が始まったとき、私も詫間大橋付近の花壇に植えに行きました」と話すのは、詫間町の小林寛司さん(72)。小林さんは当時、花いっぱい運動推進協議会のメンバーに入っていました。

「この活動は、平成5年開催の東四国国体に向けて、町をあげて実施されたものでした。詫間大橋だけでなく、詫間駅や役場周辺、紫雲上山にまで、住民みんなで花を植えていきましたよ。私も道沿いの花壇にバーベナテネラを、紫雲上山の駐車場から展望台に向かってはノースポールの花を植えました」

こうした花いっぱい運動によって、街中には小さな花壇が作られ、花の鑑賞スポットが次々に生まれていきました。その管理は自治会をはじめ、子ども会、婦人会、老人会が担い、たくさんの人が参加しました。まさに、町ぐるみの活動でした。

「実は、この花いっぱい運動が活発になったのは、国が昭和63年から平成元年にかけて行った、ふるさと創生事業がきっかけでした。1億円が町に交付されることになり、詫間町ではふるさと創生懇談会を設立して、その使い道を考えることになりました。私は懇談会の会長でした」

だが、運営委員7人を中心に自由闊達な討論がなされ、さまざまなアイデアが出ました。そして、最終的にまとめた提言の中で、花いっぱい運動が重点プロジェクトに位置付けられたのです」

ふるさと創生事業の交付金を活用した花いっぱい運動は、その後、四季を通して花が鑑賞できるよう、荘内半島を中心に7カ所の花畑の整備にも取り組みました。また、詫間大橋付近の花壇は、今でも詫間町ボランティア協会の皆さんがお世話をしてくれています。花のある町づくりの心は、時を経ても引き継がれています。



編集
後記

早 12月号…。1年が経つのは早いなあと思いつつ、子育て特集を作成しました。私はまだ独身ですが、もし子どもを持つ日がきたら、地域で子育て支援に関わる皆さんにぜひ頼ってみたいと思いました。子どもを持つことが人生の全てではありませんが、親になる夢が膨らんだ機会となりました。